

勝山の町並み保存40年の歩みを展示

郷育構築事業で岡山県第1号指定から40歳の展示

日時▶ 令和7年12月16日（火）から一般公開開始

場所▶ 勝山郷土資料館

勝山・町並み保存地区は岡山県の町並み保存地区第1号として昭和60年（1985年）12月16日に指定されてから、本年12月16日で40歳になります。

これにあたり、町並み保存地区中心部にある勝山郷土資料館では、真庭市郷育構築事業の一環として「町並み保存40年の歩み」をたどる展示を、ささやかに開始いたします。

つきましては、報道・取材方よろしくお願い申し上げます。

概要▶

1. 公開開始 令和7年12月16日（火）～

展示場所 勝山郷土資料館（真庭市勝山170番地）

☎0867-44-4222

2. 展示内容 展示場所 正面展示スペースほか

○町並み保存地区指定以前の町並みの姿（写真）

○町並み保存地区指定通知

○町並み保存地区受賞や認定履歴物品

○のれんの町の「始まりののれん」ほか

3. サイドストーリー（郷育構築事業としての展示）

岡山県が、それまでの「ふるさと村」事業を「町並み保存地区」に衣替えし、第1号として勝山の町並みを保存地区に指定してから40年が経過します。指定により活発化した住民の活動により「のれんの町」や「勝山のお雛まつり」が誕生し、「まちづくり」の好事例として外部評価を得てきましたが、現在、勝山地域住民により国の「重要伝統的建造物群保存地区」を目指す動きが始まっています。また、40年間の歳月と活動は、次世代への継承が求められています。

4. 勝山郷土資料館について（昭和61年 1986年設置）

明和元年（1764年）に入府した勝山藩二万三千石の三浦家、勝山に疎開していた文豪：谷崎潤一郎、高瀬舟で栄えた城下町の資料などを展示。

▶開館：年末年始を除く9:30から16:30まで（臨時休館あり）

年末年始休館は12月29日から1月3日まで

▶入館料：一般・高校生以上（1人200円）、団体：20人以上（1人160円）

※勝山藩当時のままの姿を残す唯一の武家家屋 渡辺家も同様。

お問い合わせ先・発信元▶

勝山振興局地域振興課

（担当 地域振興課長 山本）

TEL0867-44-2607

FAX0867-44-4569

真庭市・勝山郷土資料館

町並み保存40年の歩みを展示

町並み保存整備事業前町並み写真

始まりののれん



町並み保存指定地区マップ



町並み保存地区の受賞や認定、勝山のお雛まつり第1号のポスター、松竹映画「男はつらいよ最終作」寅次郎紅の花の勝山ロケにかかわる物品、また本年度、関西万博で受賞式が行われた「クールジャパンワード2025」の認定証などの品々を展示しています。